

## 日立が英国都市間高速鉄道計画向け車両を笠戸事業所より出荷開始



出荷のため船積みされる Class 800 車両

株式会社日立製作所(執行役社長兼 COO: 東原 敏昭/以下、日立)は、2014年11月に公開した英国運輸省(DfT : Department for Transport)の都市間高速鉄道計画(IEP : Intercity Express Programme)向け車両の先行生産車両1編成を完成させ、本日、笠戸事業所(山口県下松市)より出荷を開始しました。

なお、本プロジェクトは英国運輸省が主導するPPP(Public Private Partnership)スキームで実施されており、株式会社国際協力銀行および、独立行政法人日本貿易保険などによる金融支援を受けています。

出荷した車両は本年3月に英国に到着後、車両の復元作業を行うと同時に走行試験用の各種測定器などを搭載し、本年4月より乗務員の訓練を兼ねた走行試験を開始する予定です。走行試験は車両を納入する日立と、車両の納入先である特別目的会社Agility Trains社、IEP路線の運行会社であるFirst Great Western社、Inter City Railways社と協力して実施される予定です。

なお、本日、出荷された車両は、本年1月中旬に神戸港にて大型船に積み替えられた後、英国をめざす予定です。

現在、日立は、英国ダーラム州ニュートン・エイクリフにおいて、日立レールヨーロッパ社の鉄道車両工場の建設を進めています。約 8,200 万ポンドの費用で建設される同車両工場は、本年の夏ごろに竣工し、2016 年には Class 800 シリーズの生産を開始する予定です。既に、同車両工場に勤務する従業員の採用活動を開始しており、最終的に研究開発施設も含め約 730 名のスタッフを採用する見込みです。

以 上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---